

初代西条市長 伊藤宏太郎氏 逝去



故 伊藤宏太郎氏 経歴

昭和17年12月14日 出生

昭和40年3月

松山商科大学（現松山大学） 商経学部経営学科卒業

昭和40年4月～平成元年7月 株式会社伊予銀行勤務

平成3年5月～平成7年5月 旧西条市議会議員

平成7年12月～平成16年10月 旧西条市長（3期）

平成16年11月～平成24年11月 西条市長（2期）

初代西条市長、伊藤宏太郎氏が平成27年2月12日午後8時14分、永眠されました。享年73歳でした。

氏は、昭和17年にお生まれになり、昭和40年松山商科大学を卒業されました。株式会社伊予銀行勤務を経て、平成3年に旧西条市議会議員に当選、平成7年12月からは旧西条市長を3期、さらに平成16年11月からは合併後の初代市長として2期、実に5期17年の長きにわたり市長として市政を担当、本市の振興発展に尽力されました。

この間、「地域活力の源泉は産業にある」との強い思いのもと、積極的な産業政策を展開、第三セクター「株式会社産業情報支援センター」の設立や企業誘致に積極的に取り組まれ、県下屈指の製造品出荷額などを誇る安定した産業基盤の構築に多大な貢献をされました。



▲日本経済団体連合会が推進する「未来都市モデルプロジェクト」の一つ「西条農業革新都市」始動に伴う、進出表明調印式（平成23年8月24日）

また、甚大な台風被害に見舞われたことを教訓とし、自主防災組織の育成、防災士の養成などさまざまな防災対策に精力的に取り組まれ地域防災力の強化に努められました。

本市にとってかけがえのない資源である「水」に強い思いを持ち、地下水の保全活動を行いつつ、その活用については「水と食」「食と農」をテーマとして、いち早く農業の総合6次産業化を提唱、農商工連携政策に取り組み、国などから高い評価を受け、未来都市モデルプロジェクトや総合特区の指定を受け、西条農業革新都市として先進的な取り組みをスタートさせました。

さらに、都市基盤、生活環境の整備にも精力を傾けられ、市街地の縦貫、横断幹線道の開通や市街地周辺の市道整備や中心市街地の整備、東予港防波堤整備の事業化など、快適な都市基盤の形成に取り組まれました。また、教育、文化の振興、スポーツの振興、健康づくり施策、地域福祉の充実、地域情報の発信、行政改革の推進など、市政各般にわたり多大な貢献をされました。

氏は西条市の振興発展に大きな足跡を残されました。

ここに市民の皆さんとともにそのご功績をおたたえし、謹んでご冥福をお祈りいたします。